

歌は語る / オペラや歌曲と共に
腰越満美 村上寿昭
soprano piano

2019 06月01日(土)

開場 13:00
開演 13:30~

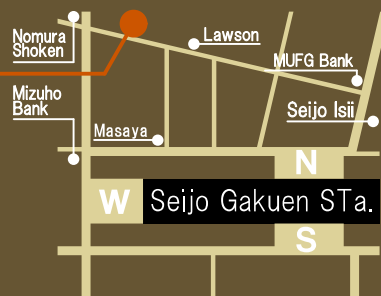
(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



腰越満美

東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。二期会オペラスタジオ修了。修了時最優秀賞及び川崎静子賞受賞。文化庁オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。95年フェルッチョ・タリアヴィーニ国際コンクール第1位。宮本亜門演出、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『フィガロの結婚』伯爵夫人役を見事に演じ切って絶賛を博した。また二期会・日生劇場共催公演、ライマン作曲『リア』の日本初演にリーガン役(天皇・皇后両陛下ご臨席)、新国立劇場には、劇場オープニング記念オペラ『建・TAKERU』で夏乃役以降、多数の演目に出演次々と大舞台の主役を務め、オペラ公演には欠かせぬ存在となっている。オーケストラとの共演も多く、ソリストとしても活躍。「NHKニューイヤー・オペラコンサート」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などテレビにも数多く出演。また、ビクターよりCD「マイ・フェイヴァリット」、武満徹歌曲集「武満徹：SONGS」をリリース。自身の企画によるジャズ・ポピュラーのみのリサイタルを開催するなど華のある舞台姿と柔軟な音楽性で、クラシックにとどまらぬ幅広いジャンルで活躍している。現在、桐朋学園大学准教授、東京二期会会員。



村上寿昭

東京生まれ。ピアノを塩野圭子氏に師事。桐朋学園大学にて指揮を小澤征爾、黒岩英臣、秋山和慶の各氏に師事。大学在学中から、新日本フィルハーモニー交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラにて、その後も水戸室内管弦楽団、ウィーン国立歌劇場で小澤征爾氏のアシスタントを務める。1997年渡独。ベルリン国立芸術大学でマティアス・フスマン教授に師事。また2000年からは文化庁海外研修者として、またロームミュージックファンデーションの助成を受けウィーンへ留学。ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガー教授、湯浅勇治氏に師事。2004年から2006年までオーストリア・リンツ州立歌劇場に在籍、2006年からドイツ・ハノーファー州立歌劇場に転じ、2008年から2012年まではカペルマイスターとして数多くのオペラ、バレエを指揮。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティー・フィル、大阪交響楽団、京都市交響楽団、京都フィル、岡山フィルなどを指揮。2016年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIVにて「こうもり」を、翌年は「カルメン」を指揮(小澤征爾氏と振り分け)。2016年セイジ・オザワ松本フェスティバルにてGigコンサートを指揮。現在、東京芸術大学講師、桐朋学園大学音楽学部講師、新国立劇場オペラ研修所講師。